

第5・6学年 国語科学習指導案

日 時 令和元年11月14日(木)5校時
児 童 第5学年 男2名 女3名 計5名
第6学年 男2名 女4名 計6名

<第5学年>

1 単元名 伝記を読んで、感想文を書こう

教材名 「手塚治虫」

2 児童の実態

児童は読書を好む。しかし、伝記をどのように読み、どのように感想文を書けば良いのかを理解していない。また、自分の考えや思いを表現するための語彙力がまだ十分に備わっていないともいえる。

本単元では、伝記を読んで対象人物の『すごい』と思った事実描写や説明を取り上げ、モデルの感想文を参考にしながら自分にしか書けないマイ感想文を書く活動を、単元を通した言語活動のねらいとした。

3 身に付けさせたい力と言語活動の構想

【身に付けさせたい力】

文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えをまとめること。(読むこと 力)

【本単元の言語活動】

自分が選んだ伝記で「マイ感想文」を書いて紹介する。
(「C読むこと(2)言語活動例イ)

【言語活動の特徴】

本単元の言語活動として、「C 読むこと」(2)の言語活動例「イ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動」を具体化し、紹介し合うことを位置づけた。

自分が選んだ伝記を読んで、対象人物の『すごい』と思った事実描写や説明を取り上げ、モデルの感想文を参考にしながら、自分にしか書けないマイ感想文を書く力を付けながら自分の課題を達成させていきたい。

【複式学習を行う上で付けなければならない力】

ア 進んで学習することができる。

イ 自力解決の中で自分の考えを持つ。

ウ ペア学習で、相手の要点を聞き取り自分の考えとの相違点に気付く。

エ 全体学習の中で話し合った結果をまとめるとことができる。

<第6学年>

1 単元名 将来の夢や生き方について考えよう

教材名 「プロフェッショナルたち」

2 児童の実態

児童はこれまでの説明的な文章での学習で、内容を正しく読み取ることや書き手の意図を効果的に表現する方法、複数の情報を活用することについて学習してきた。

本単元では、実社会において活躍している身近な人々の働き方、生き方について書かれた文章を読み、自分の将来について考え、自分の考えを文章に書きまとめることで、多面的なものの考え方から自分の考えを広げ深めることをねらいとした。

3 身に付けさせたい力と言語活動の構想

【身につけさせたい力】

文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えをまとめること。(読むこと 力)

【本単元の言語活動】

自分は将来どんなプロフェッショナルになりたいか文章にまとめ、紹介する。(「C読むこと(2)言語活動例イ)

【言語活動の特徴】

本単元の言語活動として、「C 読むこと」(2)の言語活動例「イ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動」を具体化し、紹介し合うことを位置づけた。

「プロフェッショナルとは何か」という視点で本や文章を読むことにより、自分の課題解決のために本や文章を読むという目的をもった読みとなり、主体的な学習となる。まとめた文章を互いに聞き合い、自分のものの見方や考え方を広めたり、深めたりする力を付けながら自分の課題を達成させていきたい。

【複式学習を行う上で付けなければならない力】

ア 進んで学習することができる。

イ 自力解決の中で自分の考えを持つ。

ウ ペア学習で、相手の要点を聞き取り自分の考えとの相違点に気付く。

エ 全体学習の中で話し合った結果をまとめるとすることができる。

4 指導にあたって

本教材は、漫画家手塚治虫の生き方を取り上げた伝記である。5章から成り、時系列に記述されていることで理解しやすい文章構成になっている。更に取り上げられている出来事には、手塚治虫の漫画への情熱と努力が表れているものが多い。また、児童が自分と関係付けて考えやすい事柄も取り入れられ、自分を見つめ直し、自分の生き方について考える学習に適した教材文である。

第1次では、教材文を通読し、「自分が選んだ伝記で「マイ感想文」を書いて紹介する」という学習課題を確認し、単元のゴールまでの学習の流れをつかませるようにしたい。

第2次では、手塚治虫の『すごい』と感じた事実描写を話し合い、自分の考えを自ら見出すことができるようにしたい。

第3次では、第2次から並行読書に取り組んできた伝記の業績や行動などから生き方をまとめる。そして、自分を見つめ直し、自分の生き方について考え、マイ感想文を書くことができるように進めていきたい。

5 単元目標

対象人物の生き方に対する自分の考えを明確に持ち、感想文を書くことができる。

学習指導要領との関連:C(1)カ

B(1)オ 言葉の特徴(1)ア

6 評価規準

(1) 知識・技能

言葉の特徴(1)ア

文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。

(2) 思考・判断・表現

C(1)カ ◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

進んで文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習の見通しを持ちながら伝記を読んだり、マイ感想文を書いたりしようとしている。

4 指導にあたって

本教材は、将来の夢や仕事、職業、自分の生き方をとらえやすい教材である。また、3人の事例を比較して、それぞれの人物の行動や考え方の共通点や相違点を見付けながら、互いの考えを交流することで、自分の考えを広げたり深めたりする学習に適した教材文である。

第1次では、教材文を通読し、「自分は将来どんなプロフェッショナルになりたいか文章にまとめ、紹介する」という学習課題を確認し、文章に挙げられているプロフェッショナルの生き方から自分の将来の夢や生き方について考えるという視点について全員が共有したい。

第2次では、3人のプロフェッショナルだと感じたところを話し合い、自分の考えを自ら見出すことができるようにしたい。

第3次では、第2次から並行読書に取り組んできたプロフェッショナルだと感じたことをまとめる。そして、教材文の3人の事例と並行読書の内容を関係付けながらプロフェッショナルだと感じたことを交流し、自分の考えをまとめる。さらに、プロフェッショナルについての自分の考えと将来どんなプロフェッショナルになりたいかという夢や生き方について主体的に書くことができるよう進めていきたい。

5 単元の目標

中心となる人物の気持ちの変化とその理由について考えて読み、感想を伝え合うことができる。

学習指導要領との関連:C(1)カ

B(1)オ 言葉の特徴(1)ア

6 評価規準

(1) 知識・技能

言葉の特徴(1)ア

文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。

(2) 思考・判断・表現

C(1)カ ◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

進んで文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習の見通しを持ちながら自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。

7 単元の指導計画

<5年生> 8時間計画

次	時	学習活動	言語事項に関する留意点	評価規準(評価方法)
一	1	○学習の見通しをもつ。 ・伝記について知る。 ・学習のゴールの姿を知り、モデル感想文から感想文を書くための「書き技」を見付ける。	・様々な人物の伝記を用意し、伝記への興味を持たせる。 ・5種類のモデル感想文を提示し、感想文を書くときに取り入れたい視点を見付けさせる。 手立て①<視点1>	【主】進んでモデル感想文を読み、学習の見通しを持ちながら、感想文の「書き技」を見付けている。(観察)
	2	○教材「手塚治虫」に出会う。 ・新出漢字や難しい言葉の意味調べをする。	・時代の違いで分かりづらい言葉は、事前に提示し、その中から選択して意味調べをさせる。 ・5つの章の内容の大体を確認させる。 手立て②	【知】教材文「手塚治虫」の文章の組み立てを整理している。(ワークシート、発言、観察)
二	3 時	○教材「手塚治虫」を読む。 ・「手塚治虫」の『すごい』と思う事実描写を見付ける。	・自分が『すごい』と思う事実描写等に付箋を付けさせる。 手立て①<視点1> 手立て②	【思】「手塚治虫」の生き方をおおむね理解し、『すごい』と思う記述を取り上げている。(ワークシート、発言)
	4	○「手塚治虫」の『すごい』と思う事実描写と自分を結び付けて考える。	・取り上げた『すごい』記述と自分の考えを結び付ける視点を与えて、感想を書かせる。 手立て③<視点2>	【思】「手塚治虫」の事実描写と自分の経験や考えを結び付けた感想を書いている。(ワークシート、発言)
	5	○「書き技」を使って、感想文を書く。	・モデル感想文を参考にして、字数などの共通の「書き技」を確認する。 手立て①<視点1> ・自分の考えに「ぴったり合う言葉」を使えるように、資料や国語辞典を活用するよう助言する。	【思】「手塚治虫」の生き方を通して自分を見つめ直して、自分の考えを明確にもって書いている。(ワークシート)
	6	○友達のマイ感想文の「書き技」を見付ける。	・グループで友達のマイ感想文を読み合い、「書き技」を効果的に使っている部分を見付け、付箋を付けさせる。 手立て②	【思】友達の作品の良いところである「書き技」を意欲的に見付けている。(付箋、観察)
三	7	○自分が選んだ伝記でマイ感想文を書く。	・「手塚治虫」の感想文をどのような手順で書いたのか確認する。 ・自力でマイ感想文が書けるように励まし、「ことばの資料」を使って「ぴったりの言葉」を探すように促す。 手立て②	【思】自分が選んだ対象人物の業績や行動などから生き方を読み取り、自分と結び付けてマイ感想文を書いている。(ワークシート)
	8	○ペアで感想文の発表会を行う。 ○感想文集を作成する。	・ペアで発表会を行い、「書き技」が効果的に使われているところに付箋を付けて、「ほめほめカード」に記入させる。 手立て③<視点2> ・「ほめほめカード」を基に交流させ、互いの良さを認め合わせる。 ・感想文集の最終ページに、単元を振り返って学んだことを記述させる。	【思】友達の作品の良いところである「書き技」を意欲的に見付けている。(付箋、観察)

<6年生> 10時間計画

次	時	学習活動	言語事項に関する留意点	評価規準(評価方法)
一	1	○将来についての夢や希望を交流し、学習の見通しを持つ。	・プロフェッショナルとはどういう人のことについて、意見を出し合う。 ・文章に挙げられているプロフェッショナルの生き方から、自分の将来の夢や生き方について考えるという単元のゴールのイメージを持たせる。 手立て①<視点1>	【主】進んでプロフェッショナルな人に関心を持ち、自分が考えたプロフェッショナルな人とはどんな人かを考えようとしている。(ノート、観察)
二	2	○「海獣医師、勝俣悦子の仕事」を読んで、プロフェッショナルだと感じたところを話し合い、自分の考えをノートにまとめる。	・3人の事例を同パターンで学習させ、児童が主体的に学習できるようにする。手立て② ・勝俣さんがプロフェッショナルだと感じるところを付箋に短い言葉で書く。 手立て③<視点2>	【思】勝俣さんがどんな仕事に取り組んでいるか、仕事内容、行動、考えなどの視点でノートに整理している。(ノート、発言)
3 時	3	○「板金職人、国村次郎の仕事」を読んで、プロフェッショナルだと感じたところを話し合い、自分の考えをノートにまとめる。	・3人の事例を同パターンで学習させ、児童が主体的に学習できるようにする。手立て② ・国村さんがプロフェッショナルだと感じるところを付箋に短い言葉で書く。 手立て③<視点2>	【思】国村さんがどんな仕事に取り組んでいるか、仕事内容、行動、考えなどの視点でノートに整理している。(ノート、発言)
	4	○「パティシエ、杉野英実の仕事」を読んで、プロフェッショナルだと感じたところを話し合い、自分の考えをノートにまとめる。	・3人の事例を同パターンで学習させ、児童が主体的に学習できるようにする。手立て② ・杉野さんがプロフェッショナルだと感じるところを付箋に短い言葉で書く。 手立て③<視点2>	【思】杉野さんがどんな仕事に取り組んでいるか、仕事内容、行動、考えなどの視点でノートに整理している。(ノート、発言)
三	5	○並行読書した中から、1人の人物を選び、その人のプロフェッショナルだと感じたところをまとめる。	手立て①<視点1> 手立て③<視点2>	【思】並行読書した本の中から1人の人物を選び、その人のプロフェッショナルだと感じたところを見付けながら読んでいく。(観察、ノート)
	6	○教材文の三人の事例と並行読書の内容を関連付けながら、プロフェッショナルだと感じたところを話し合い、自分の考えをまとめる。	手立て①<視点1> 手立て③<視点2>	【思】選んだ人物の文章を読んで、プロフェッショナルだと感じたところを発表し合い、これまでの学習を通して得た自分の考えを整理して書く内容を決めている。(観察、ノート)
	7 8	○自分は将来どんなプロフェッショナルになりたいかを考え、文章にまとめる。	・文章を推敲させる。 手立て③<視点2>	【思】プロフェッショナルについての自分の考えと将来どんなプロフェッショナルになりたいかという夢や生き方について構成を考えている。(観察、ワークシート) 【知】適切な文と文との接続の関係を考えながら文章を書いている。(観察、ワークシート)
	9	○まとめた文章を交流し合う。	・友達の記事を読み合い、感想を伝え合うことによって、自分の考えを広げたり深めたりさせる。 手立て③<視点2>	【思】書いた文章を読み合い、感想を伝え合うことによって、自分の考えを広げたり深めたり

			している。(観察、発言、ワークシート)
10	○自らの学びや学び方を振り返る。	・単元の初めに立てた単元の見通しの視点で自分の学びを振り返らせる。	【主】この単元を通して自分の将来の夢について、自分のものの見方や考え方を広げたり深めたりし、自らの学びを振り返ろうとしている。(観察、発言、ワークシート)

8 本時の指導

(1) 目標 教材文「手塚治虫」の内容の大体を読み、『すごい』と思う事実描写を見付けることができる。	(1) 目標 「板金職人、国村次郎の仕事」を読んで、国村さんのプロフェッショナルと感じたところを読み取り、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
---	---

(2) 本校の研究との関わり<遠野中学校区の視点>

- ① 課題意識の持続の工夫…マイ感想文を書くことで課題を意識させる。(5年)
自分の夢や生き方の文章を書くことで課題を意識させる。(6年)
<遠野中学校区 **視点1** >
- ② 学習活動の工夫…ワークシートを扱うことで、活動の活性化を図る。(5年)
3人の事例を同パターンで学習させ、児童を主体的に学習させる(6年)
(学び合い、学びを表現させる)
- ③ 達成状況の把握の工夫…間接指導時の学びを具体物に残させ、把握に生かす。(5年)
間接指導時の学びを具体物に残させ、把握に生かす。(6年)
<遠野中学校区 **視点2** >

(3) 展開

第5学年				第6学年			
指導上の留意点 【評価】	学習内容	段階	わたり 計画	段階	学習内容	指導上の留意点 【評価】	
・マイ感想文を書くという本単元のゴールとなる活動を確認する。 手立て①<視点1> ・学習の流れを確認する。 ・児童の言葉を活かし課題を作る。 「手塚治虫」を読んで、自分が『すごい』を思う事実を見つけよう。	1 モデル感想文を参考にしてマイ感想文を書こうという本単元のゴールとなる活動を確認する。 2 本時の学習課題をつかむ。	導入 5分	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	導入 5分	1 本時の学習課題をつかむ。 国村さんのプロフェッショナル観をタイトルに表し、自分の考えをまとめよう。 2 「板金職人、国村次郎の仕事」を読み、国村さんの仕事について読み取る。	・児童の言葉を活かし課題を作る。 ・自分の夢や生き方の文章を書くという本単元のゴールとなる活動を確認する。 手立て①<視点1>	

将来の夢や生き方について考えよう

十一月十四日

課 国村さんのプロフェッショナル観をタイトルに表し、自分の考えをまとめよう。

国村さんの仕事

- ・工場長―新幹線の先頭車両に関連する部品
- ・打ち出し板金の技術…得意
- ・世界の列車造り

努力(ここがすごい!)

困難…超ジュラルミンの加工

- ・反発が強く、思うような曲線が作れない。
- ・力を入れすぎると素材が傷つく。
- ・帰宅後も打ち方を考える。
- ・試行錯誤を続ける。

見付けたプロフェッショナルの短冊

見付けたプロフェッショナルの短冊

見付けたプロフェッショナルの短冊

見付けたプロフェッショナルの短冊

見付けたプロフェッショナルの短冊

見付けたプロフェッショナルの短冊

見付けたプロフェッショナルの短冊

見付けたプロフェッショナルの短冊

見付けたプロフェッショナルの短冊

さすがプロ、ここがすごい!
○技を磨く職人○並外れた職人



ま 自分が考えるプロフェッショナルとは、